75 号

なでしこ通信

令和３年度夏・秋号

今年の夏は前線の影響で、全国的に雨が続き各地で多大な災害が発生しました。その中でも熱海市の土砂災害は記憶に新しく多くの方がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りいたします。

さて、コロナ禍の影響により楽しみにしていましたキャンプも延期になり行事も思うように実施できない状況でしたが緊急事態も解除されましたので今後は、コロナ対策をしっかりと行いながら楽しい企画を考えていますので待ってくださいね。

受賞おめでとうございます

第６８回関東甲信越静里親協議会表彰（オンライン開催）
表彰者　　様
第６６回全国里親大会九州地区里親研修会福岡市大会表彰（オンライン開催）
表彰者　　様
静岡県社会福祉協議会会長表彰（大会中止）
表彰者　　様
静岡市社会福祉協議会会長表彰（インターネットによる動画配信）
表彰者　　様

新規里親紹介

養育里親登録
ご夫婦
養育里親・養子縁組里親
ご夫婦
ご夫婦
里親会の皆さんよろしくお願いいたします

スタート研修 2021　６月17日～７月１日（全３回）

講師：日本セラプレイ協会　国際認定セラピスト　高井美和先生

令和２年度登録の新里親（６世帯）が対象に開催されました。
３週に亘るセッションは、驚きと発見の連続でした。
画像を見て「何を感じましたか？」と質問され、発表してみると…人によって感じ方、考え方が違うことを実感。子どもの価値観も違うはずと気づきました。

　親子に扮したロールプレイでは里親自身の「傾向」を分析されてドキっ!!一番身近なはずの“自分”を知らされて驚き、短所だと思っていた性格が子どもにとっての「安ぎ」になると知らされて、うれしい驚きもありました。

　最終日には「遊び方」の具体例として、①子どもと一緒に盛り上がれる遊び②興奮した気持ちを落ち着かせる遊び③人見知りの強い子と関係を作る遊び　等を学びました。

『セラプレイ』とは…1967 年にアメリカ イリノイ州で心理療法・教育方法として誕生、発展し、今では世界 60 か国において実践されています
母子関係における親密で温かい関係性に着目し、心地よいスキンシップや楽しさ溢れる遊びを通した関わりが特徴です。

（セラプレイ国際本部公認カセリングセンター　パンフより抜粋）

≪参加者の感想≫

- 価値観の多様性を認める大切さを再認識した。子育てにおいても子どもの視点に立っての言動を心掛けたい。人の視点に立って考えることの大切さを再確認した。
- 子どもが何を見ているか、何がうれしいのか、何が苦手なのか・・・大人が「子どもを知ろうとすること」が子どもの喜びだと知った。
- 「安全最優先」「違っていても否定しない」「自信を持たせる」。大切にしたい。
- 歌が嫌いな子だっているということに目からウロコでした。子どもをよく見よう。
- 自分の感覚で正誤、善悪を判断してきたが、それはあくまで「私の物差し」だった。
- 子どもの視点に立って、一緒に感じてその子を知ることが信頼関係構築の一歩。
- 大人は子どもが遊びに集中できるようにさりげなくサポートするのが役目。

さとふる応援プロジェクト

～心理教育研修～感情を知る

日程：令和３年８月10日（火）
時間：１部　10:00～11:30（低学年）
　　２部　14:00～15:30（高学年）
会場：少年の家　多目的室
講師：上野（うえの）　永子（のりこ）先生
　　静岡福祉大学子ども学科准教授
　　教育心理学博士、臨床心理士、公認心理師
対象：小学生とその保護者　各６組

今回の里子対象の心理教育研修のテーマは、
【感情】についてです。研修では、自分自身の、
① 様々な感情について知る。
② どのような感情も大事にされるべきものであることを知る。
③ （特にネガティブな）感情をどうやって取り扱うかについて知る。
ことを、目的として「表情カード」や「火山実験」を使い、楽しく学びました。

◆ こどもの声 ◆

☆ 心の火山ばくはつ、すごかった。やばかった。たのしかった。あふれた。（小5女子）
☆ 色々な知らなかった気持ちを知ることができて、嫌な気持ちの時に、どんなことをすれいいのかわかって良かった。（小5女子）
☆ 人にはプラスの気持ちがあれば、マイナスの気持ちもあることに気づいた（小4女子）
☆ たのしかった!!!（小2女子）
☆ みんなと話ができて楽しかった。（小５女子）
☆ いろんな気持ちがあることがわかった。（小4男子）

◆ おとなの声 ◆

★ 「心」を富士山のように見える形に表してもらい、心のもやもやは、イライラは、「爆発する」ことがわかったようです。自分なりに気持ちをおさめたかな。（里母）
★ 研修に参加したことで、困った時にはまわりの大人に話す事の大事さを理解したようです。（里母）

１年生お祝い会

令和３年７月４日（日）の１年生のお祝い会を開催しました。
今年度、小学校に入学した里子ちゃんは可愛い女の子２名です。子ども達からも「学校のお勉強も給食も大好き、仲良しのお友達もできたよ」と教えてくれました。

今年度も『グラッチェ』（駿河区聖一色）オーナー　青島理晃（あおしまよしてる）様より入学児童の里親子へハンバーグランチを贈呈していただきました。

とても美味しかったと子供たちも大喜びでした。ありがとうございました。

編集後記

長い間苦しめてきたコロナ禍も少しづつ前の生活が戻りつつあります。でもまだ安心できる状況ではないので予防対策をしっかり行いみんなで結束して乗り越えましょう。
これからも楽しい行事を企画しますので楽しみにしてください。里親さん里子さんが元気に過ごしてくださることをセンター職員一同心より願っております。(*^_^*)

ＮＰＯ法人　静岡市里親家庭支援センター
〒420－0947　静岡市堤町914番地の417（静岡市児童相談所内）
TEL.　２７５－２２５２・FAX.　２５５－２０５２
担当者　細澤　　遠藤　　清水
E-mail: satooya@skyblue.ocn.ne.jp

出前講座～静岡福祉大学～　　令和３年８月３日

今年も上野先生の授業の一環でもあります「家族心理学」のうち里親に関する授業を実施しました。講師として眞保葉子里母が養育についての苦労したことや里子とどのようにして打ち解け合っていったかなどエピソードを踏まえて熱弁して頂きました。受講生の生徒さん、春風寮の職員の方たちも感動して涙する生徒さんもいました。講演後の質疑応答も真実告知のタイミングなど養育者でなければわからないことについて質問し深くうなづいていました。

講演後のアンケート結果では実際に里親さんの里子さんへの愛情や、実子を育てていても里親になれること、里子さんの実名の伝え方など授業ではわからないことが眞保さんのお話で分かったことが多く、大変有意義な講演であったことが多数の生徒さんから意見が寄せられていました。

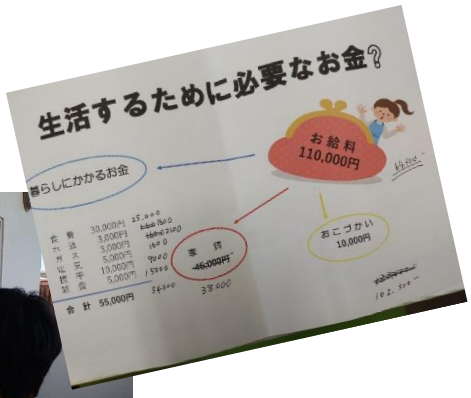
里親月間記念講演会「子どもと暮らす～不妊治療と里親制度」

１０月２３日にアイセル２１大ホールにおいて、静岡大学白井千晶先生による記念講演会が行われました。今回はZOOMを取り入れコロナ対策も考慮しました。

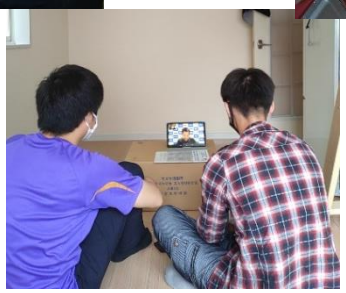
子に恵まれないため延々と続く不妊治療の厳しさや辛さ、年齢的な問題などの焦りそんな折に耳にする「里親制度」でも自分の子どもが欲しい、遺伝子を残したい。また、特別養子縁組を考えたり自分と葛藤しながらもどうしても子育てをしたいなど不妊治療に悩んでいる方の心理を鋭く分析しながらも愛情をもった先生の講義に聴衆の方も深く感動していました。

自立生活相談支援業務

今年度より、措置解除後を迎えた子たちへの支援や
里親宅･施設等の退所を控えた子どもたちへの支援を行っています。



悩み事相談・公共料金の支払い・日々の金銭管理・通帳記帳・病院付き添い・市役所手続き同行・家族交流の橋渡し・奨学金の申請・弁護士相談同行・各関係機関との連携・食料支援など多岐に渡ります。



一人暮らし体験の実施・自立のためのクッキング・研修の開催・お掃除トレーニングなど
退所を控えた子どもたちへの指導も実施しております。

♫アパート整備の為に物品等を寄付してくださった皆様ありがとうございます♫
体験をした子どもたちの中からは、
「里親さん達みんなに応援してもらっている気がする」
「(こうして練習させてもらえることは）本当にありがたい。」など
感謝の言葉が聞かれます。今後ともご支援よろしくお願いします。